

**NEW 警備業の「カスハラ対策」は？ 恵庭市の「(株)アイルコーポレーション」社員研修で講演**


4月19日(土)13:00より、恵庭市内で警備関連業者の(株)アイルコーポレーションが開催している社員研修に当センターの木下真一事務局長理事が講師として「カスハラ対策」についての講演を行いました。恵庭市法人会での講演をきっかけに、この2月に警備員の方々が遭うカスハラ被害について相談をいただき、セミナーを開催することになりました。以前にもお知らせしましたが、交通誘導中に「いつまで待たせるんだ、バカヤロー」、駐車場が満車にも関わらず「駐車させろ！あほ！」などのハラスメントを受けるそうです。会社として

「カスハラお断り！」のプレートを胸つけて対策をしていますが、組織的な対応が必要なことから社員全体で学習を深めることとなりました。

講演では、カスハラ加害者の特性として「立場・知識・経済力・年齢」が背景となりハラスメントを行うパワーとなっており、「ゆがんだ正義感」や「プライドを傷つけられた」「妥協・譲歩の思考を持たない」「私をバカにしているの！」など4つのパターンがあることを紹介しました。また、警備でトラブルになるきっかけとしては態度が悪いと感じられた場合で「威圧感・不快感や柔軟性に欠ける対応」がキッカケであることを説明し、原因を作らないことが重要であることを理解していただきました。駐車場誘導で怒鳴られ「早く停めさせろ」といわれても主張を認めずに、不満に思っている「待たされる」ことへの限定的謝罪として「大変混雑しており申し訳ございません。お客様の気持ちはわかります」と冷静に話を進める必要があるとの基本対応も説明しました。

警備員の方々からは、「いきなり怒鳴られると慌ててしまうので、記録・報告に自信がない」「カスハラ防止条例は他の県にもあるのか？罰則規定がないのはなぜか？」「土下座の要求や暴力を受けた場合には道条例では何か規定があるのか？」などの質問をいただきました。これらの回答をしながら、社員の方々の苦労話も伺うことができ、今後のカスハラ対策のあり方を考える貴重な機会となりました。

最後に、カスハラはメンタルヘルスに影響を及ぼすことから、同僚・上司との情報共有を必ず行うことで、「辛かった、嫌な気持ちになった、怖かった」など自分の感情を伝えることが「ストレスを溜めない」方法であることを皆さんにお伝えして講座を終了しました。

**NEW 前特別講師の「斉藤 勉」さんが「カスハラ論文」執筆 ホームページで公開します**

当センターの元・事務局長、前特別講師の「斉藤 勉」(現・日本ワークルール検定協会理事)さんが、この間のカスハラに関する調査・研究などの成果をまとめたものを「月刊・労委労協」に論考として執筆してこの出版されることとなりました。『「お客様は神様」の終焉。労働者をどう守るか！』をテーマに、「暴走する正義、沈黙する現場」の実態を人権問題として捉えて社会問題として考察したものです。カスハラ対策の法整備が進む中、「顧客優位」を過度に強調してきた日本社会の問題点を指摘するとともに、対策の組織的・経営的意義についての重要性を強調しています。また、当センターが24年度に実施した「アンケート調査」の結果も示し、カスハラによる心身への影響を「離職率」と比較・検証する中で、被害者保護には組織文化(社



風)などの改善が必要であるとしています。最後に、自治体での条例制定の動向を紹介するとともに、法改正による「措置義務」だけで「サービスする人・受ける人双方を守れるのか」として「ILO 条約第 190 条、暴力およびハラスメントの撤廃に関する条約」の早期批准による「働く人の人権と尊厳を守る」ことの強化を訴えています。「論考」は大学での講義などにも活用される予定があるそうです。この「論考」全文はホームページのトップページから見るすることができます。

### 再掲載「メンタルヘルスアンケート調査」 結果(速報)を公開しています

3月16日から実施した2025年度の調査研究活動である「メンタルヘルスに関するアンケート調査」にご協力いただいた会員組織の皆さんに感謝申し上げます。約800人の方にアンケート調査に参加していただき、4/1より速報として結果をグラフにしたものを下記のサイトで公開しています。現在は、北海道医療大学金澤先生の協力のもと、簡易判定を行った「ストレスチェック」「ワークエンゲージメント」や他の2項目を総合的に分析する作業を行っています。6月初旬には結果報告書として皆さんのもとに届けることができる予定です。

調査した項目について前回は、「ワークエンゲージメント」「認知的フュージョン」を紹介しましたが、3つ目が「セルフコンパッション」といって「自分へのおもいやり」を調べるために「苦労をしている時、必要とする程度に自分自身をいたわり、やさしくする」といったことを質問しています。苦労している・失敗した時の「自分への慈しみ」の程度は「自分の辛い感情を否定せず受け止めようとする力」となります。【つづく】

アンケート結果は、<https://e-union.net/kasuhara2025/kokai.html> から

### 再掲載 ワークルール検定 2026【春 6/12～6/13 実施】 受付開始！

ワークルールとは、「働くことに関する法的なルール」のことです。ワークルールを知らなかったことにより、本来受ける必要のない不利益に晒されたり、「過労死」のような典型的な労働災害の被害者になりかねません。転ばぬ先の杖というように、ワークルールを知ることがとても大切なことです。

検定はIBT方式で、自宅などから期間内であれば時間を問わずにパソコン・スマホ・タブレットで受検できます。出題内容は、おおむね「テキストブック」に準拠しており、これを学習すれば労働組合の活動に活かせる「労働災害・労働契約・労働条件変更・賃金・人権保護雇用・労働組合・社会保障」などの知識を得ることができます。連合マンスリーにも掲載されています。

職場の権利教育ネットワーク【☎011-211-8784】か、

北海道勤労者安全衛生センター【☎011-272-8855】に問い合わせください。

受付期間は 4/1(水)～5/29(金) です。



(公式ウェブサイト)

### NEW 残業削減「運用見直し」自民「労基署指導巡り提言」について 北海道新聞より

働き方改革関連法施行後5年の検証は！ 日本成長戦略会議「労働市場改革分科会」の初会合

4月11日の北海道新聞で「残業削減 運用見直しへ」の見出しで、「長時間労働助長の懸念」として記事になっていました。高市首相が掲げる「労働時間規制の緩和検討」を巡り、自民党が企業に時間外労働の削減を一律に求める労基署の指導の運用を見直すことを盛り込んだ提言案をまとめたことが明らかになったとしています。

現行の時間規制の範囲内で残業がしやすくなるよう企業を支援することも示されましたが長時間労働を助長しかねないとの懸念も指摘しています。

自民党の成長戦略本部がとりまとめたもので、この部会では「業種や規模に関係なく一律の指導が見られる」との意見が出ていたことも紹介され、一律指導の見直しに言及した上で「違法とならないよう 36 協定や特別条項の締結に向けたサポート」も明記されているとしています。

一方、政府の労働政策審議会労働条件分科会では、厚生労働省が働き方改革関連法施行後 5 年の総点検として結果などを報告しています。総点検では、「労働時間の増減希望アンケート」においては「増やしたい労働者」約 10.5%、「減らしたい労働者」約 30.0%となったこと、「現状の労働時間に対する企業としての希望ヒアリング」では「現状のまま」201 社、「減らしたい」73 社、「増やしたい」53 社などの結果を示しています。分科会では「使用者側委員」の発言として「裁量労働制の拡大・要件緩和」「労働時間の上限規制・変形労働時間制の緩和」を求める意見が相次いだとしています。対して労働者側委員からは「例外の拡大や規制緩和は認めるべきではない」「裁量労働制は 24 年改正の徹底を進めるべきで、実態調査がない中で進めるいくのはおかしい」など否定的な意見が出ています。公益側委員からは、「労働時間のみなしと裁量を持つことはイコールではない」「裁量労働制を経営側が求めることは自然な形ではない」などの意見が上がっています。

日本成長戦略会議「労働市場改革分科会」の初会合(3/11)においても、上記の「総点検」の結果が示されて労政審分科会との情報共有を行うとされていますが、「労働者側委員の数が少なくバランスが悪い」「労政審での議論を尊重すべき」との指摘もされており、今後の動向を注視する必要があります。

**再掲載** 4 月は「ほうれんそう」と「おひたし」を大切に 新人・転入者との連携を！  
4 月は人の入れ替わりがあります！ 新年度こそ職場のコミュニケーションのリニューアルを

### 「報告・連絡・相談」する部下・後輩

**ほう** 報告

後回しにしないこと！

**れん** 連絡

誰かではなく自分が

**そう** 相談

一人で抱え込まない！

### 「報告・連絡・相談」を受ける上司・先輩

**お** 怒らない

感情的になるな！

**ひ** 否定しない

耳を傾ける！

**た** 助ける

困っていたら手助け！

**し** 指示する

わかりやすく！

**お知らせ** 東京都産業局のハラスメント防止動画があります 企業・団体で活用の検討を！

こちらから [https://www.nohara.metro.tokyo.lg.jp/?yj\\_r=6e&ly\\_c=186cbe67-4ef8-489f-9873e4ab82463660&ly\\_r=110&ly\\_src=da](https://www.nohara.metro.tokyo.lg.jp/?yj_r=6e&ly_c=186cbe67-4ef8-489f-9873e4ab82463660&ly_r=110&ly_src=da)

**お知らせ** 北海道勤労者安全衛生センターの労災防止研修用 DVD(無料)ライブラリー

[北海道安全衛生センター所有 DVD 一覧\(PDF\)](#)

100 本を超える DVD があります。

申込は [safety@rengo-hokkaido.gr.jp](mailto:safety@rengo-hokkaido.gr.jp)

会員組織でなくても無料でお貸します

企業・団体での研修会講師の依頼・相談も無料ですので当センターに気楽に相談を！

## ■ 中 | 災 | 防 | 技 | 術 | 支 | 援 | 部 | 情 | 報 |

令和6年度の研修・セミナーの開催日程もホームページに掲載しています。詳しくは、各研修等のページをどうぞご確認ください。<https://www.jisha.or.jp/seminar/oshms/index.html>

### <安全衛生団体>

■ 中央労働災害防止協会 <http://www.jisha.or.jp/>

■ 厚生労働省ホームページ

[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_40277.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_40277.html) に掲載。

■ 北海道安全衛生サービスセンター

<http://www.jisha.or.jp/hokkaido/>

■ 安全衛生情報センター <http://www.jaish.gr.jp/index.html>

■ 労働科学研究所 <http://www.isl.or.jp/>

■ 労働者健康安全機構 <https://www.johas.go.jp/>

■ 労働安全衛生総合研究所 <https://www.jniosh.johas.go.jp/>

■ 北海道産業保健総合支援センター（産保センター） <http://www.hokkaidos.johas.go.jp/>

■ 職場のあんぜんサイト (mhlw.go.jp)

■ 労働調査会 <https://www.chosakai.co.jp/>

■ 日本産業カウンセラー協会北海道支部

一般社団法人日本産業カウンセラー協会北海道支部 (counselor.or.jp)

【必見】「働く人の悩み相談室」開設中！しております。詳しくは[こちら](#)からお申込み・お問い合わせは下記までご連絡下さい。▼ご予約は電話:011-209-7000(平日9時~17時 ※土日祝日はお休み) メール:sapporo@counselor.or.jp(当日をご希望の方はお電話での受付になります。)

○ 個人の方へ | カウンセリングのご相談 | 一般社団法人日本産業カウンセラー協会 北海道支部 (counselor.or.jp)

○ 日本産業カウンセラー協会 <http://www.counselor.or.jp/>

### <行政>

■ 厚生労働省 <http://www.mhlw.go.jp/>

■ 厚生労働省 北海道労働局 <https://jsite.mhlw.go.jp/hokkaido-roudoukyoku/>

■ 北海道 <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/>

■ こころの耳 (メンタル専用サイト) <http://kokoro.mhlw.go.jp/>

「事例紹介」に検索機能を追加しました。

[こころの耳 Q&A | こころの耳:働く人のメンタルヘルス・ポータルサイト \(mhlw.go.jp\)](#)

■ パワハラポータルサイト「明るい職場応援団」 <https://www.no-harassment.mhlw.go.jp/>

■ アスベスト情報 <http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/sekimen/index.html>

■ 独法 労働政策研究・研修機構 (JIL) <https://www.jil.go.jp/>



■ いじめ・メンタルヘルス労働者支援センター（IMC） <http://ijimemental.web.fc2.com/index.html>

< おすすめHP >

- [ガン情報 がん対策情報センターについて](#)
- [がんと仕事のQ & A](#)
- 過労死防止学会 <http://www.jskr.net/>
- 全国過労死を考える家族の会 <http://karoshi-kazoku.net/>
- 日本アドラー心理学会 <http://adler.cside.ne.jp/index.html>



**NEW** ■ 安全スタッフ <https://www.rodco.jp/kytsheet/>

安全スタッフ電子版の人気コンテンツ『KYTシート』安全教育動画の紹介 危険予知訓練に活用を

〒060-0004 札幌市中央区北4条西12丁目 ほくろうビル 5F

事務局長理事 木下真一 TEL 011-272-8855 [safety@rengo-hokkaido.gr.jp](mailto:safety@rengo-hokkaido.gr.jp)